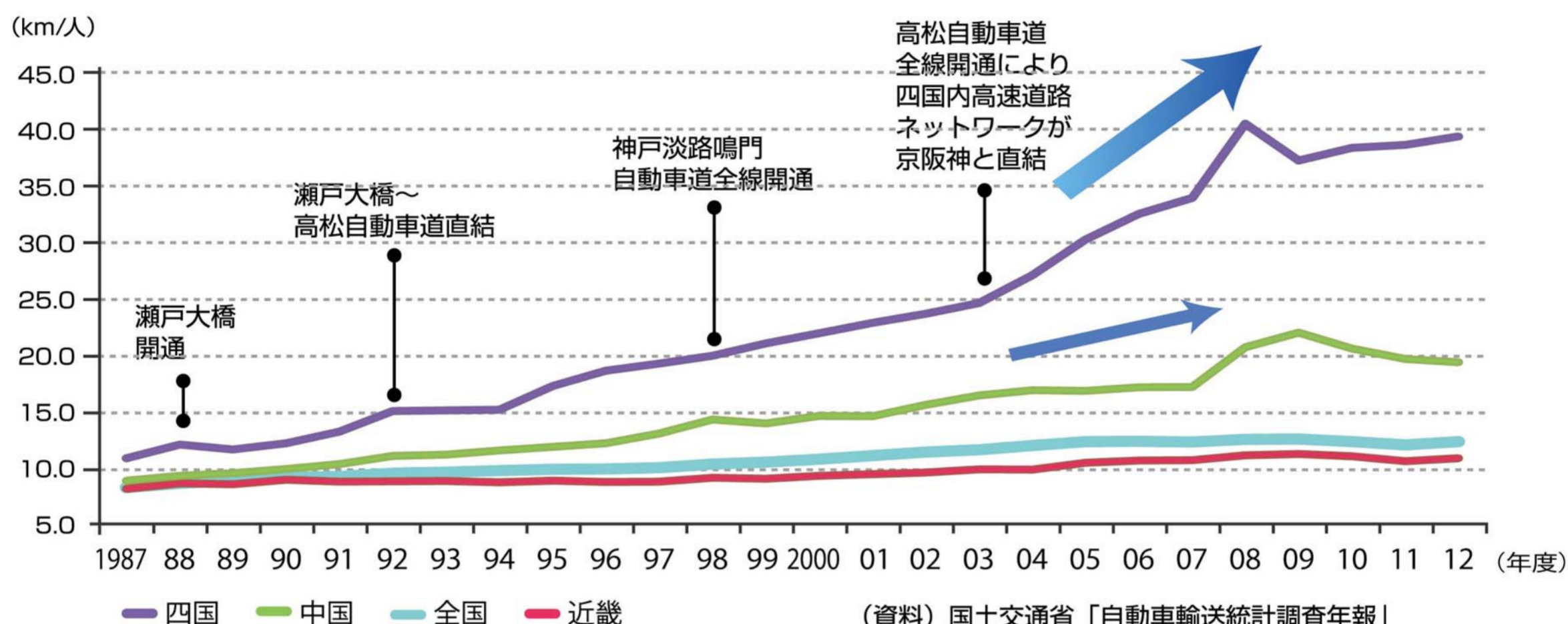


四国全域の整備効果 暮らしを支える高速道路

■ 四国の皆さまの「足」として高速バスが活躍

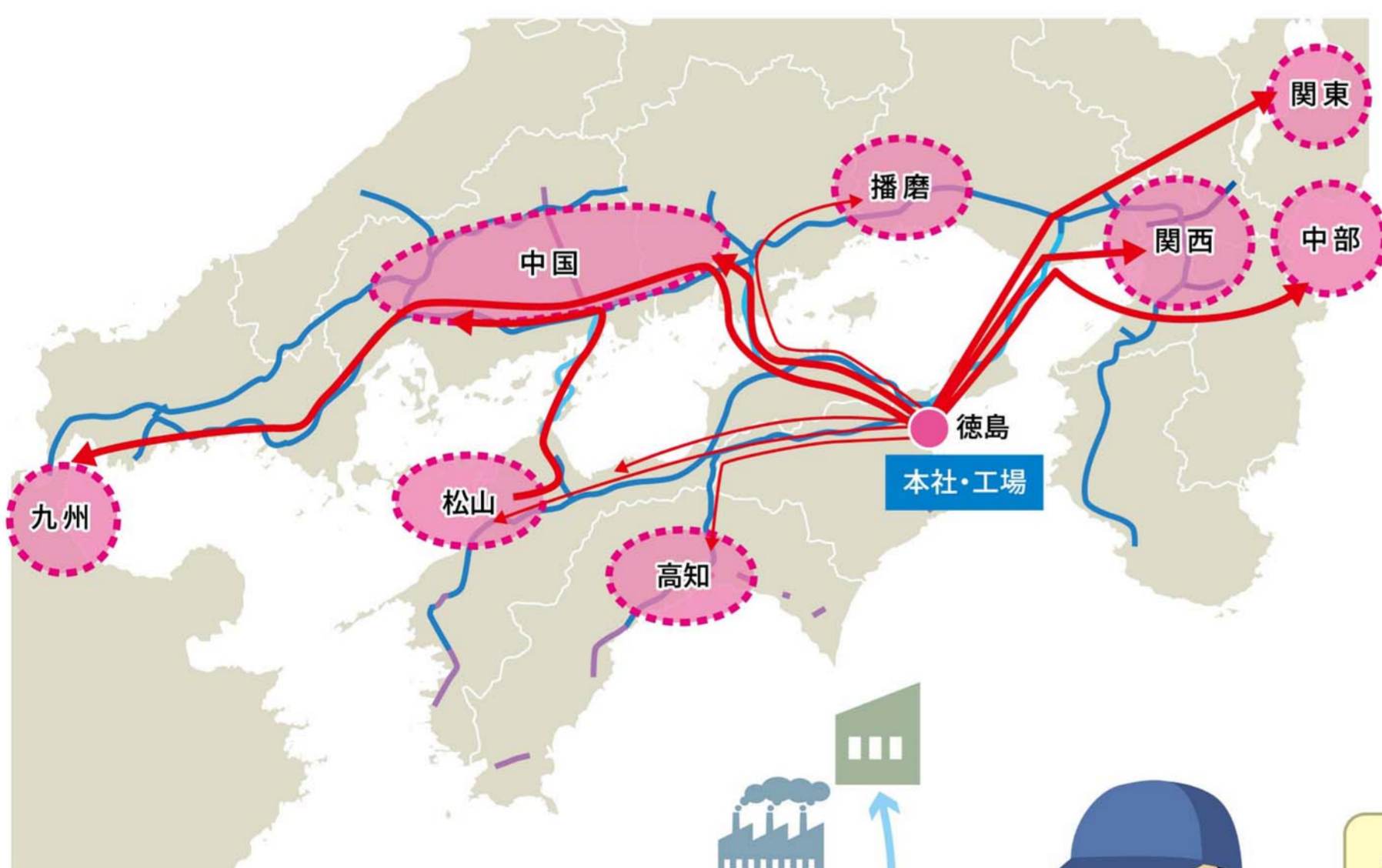
四国では、営業用車による1人あたり平均旅客輸送キロが年々増加傾向にあり、全国平均からも大きく上回っています。この要因の一つである高速バスは、本州と四国を結ぶ高速道路の開通を機に運行数が増え、遠方への移動でも乗り換えがなく、他の交通機関に比べて料金が安いことが大きな魅力となっています。

営業用車による1人あたり平均旅客輸送キロの推移



(資料) 国土交通省「自動車輸送統計調査年報」
(注) 営業用車とは、バス・ハイヤー・タクシー・トラックのことをいう

■ ジャスト・イン・タイム型の物流を支える



高速道路活用の利点である時短効果・時間の読みやすさが定時納品を可能とし、効率的な製造工程を支えます。

金属加工用装置を製造しているある会社では、生産される部品・製品等がジャスト・イン・タイムの製造工程の中に組み込まれています。納品している装置の修理・メンテナンスを早急対応することが、効率的な製造工程を支えることに繋がります。

*「ジャスト・イン・タイム」とは

複数の材料から形成される製品の生産計画に応じて「必要なものを、必要なときに、必要なだけ」供給する生産方式のことをいう。



現地対応時には部品・工具類を積んだ車での移動が必須であるため、高速道路はなくてはならない存在となっています。

(徳島県に本社を置く製造会社)